



ヤチスギラン (ヒカゲノカズラ科)

秋の晴れた日にヤチスギランの光沢が出て目立ちます。

本州の中部以北の湿原に生ずる多年生の常緑草本で、谷地、すなわち湿潤の地に生じ、茎葉が杉に似ているのでこの名があります。

芝谷地にヒカゲノカズラ科の植物はヒカゲノカズラ、トウゲシバ、マンネンスギ、それにこのヤチスギランなどがあります。

乾いたところに多いヒカゲノカズラは、子どものときから遊びに使ったり、方言でキツネノコシマキと呼んだりして親しんだものですが、ヤチスギランはなじみがうすく、おそくなつて関心を持つようになりました。

どんどん地面をはい、枝分かれして広がっていく様子に力強さを感じます。

文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□新年あけましておめでとうございます。

六日、市内二十六の分団員が参加し、大館市消防出初式が行われました。寒い中、消防マンとして気を引き締めるかのように立派な行進などをしていました。私も、今年こそは皆さんに見てもらえる広報づくりで一生懸命頑張りたいと思っています。胸を張って広報マンと言えるようになりたいものです。(ま)

□あけましておめでとうございます。

今年はまだ単に皆さんに情報提供するだけの広報ではなく、今まで以上に皆さんの意見を取り入れ、さらに、どんどん紙面にも登場してもらいながら、皆さんに親しまれる広報を目指したいと思っています。皆さんにとって今年一年が良い年でありますように。(咲)

□昨年末のクリスマス、高速道路を走って遊びに出かけた私が見たのは、いたるところで起きたスリップによる交通事故の惨状。自動車のキャビン部分が原形をとどめないほどに大破した現場も見かけ、背筋が凍る思いをさせられました。幸い、無事に帰っては来られたものの、とんだ交通安全啓蒙ツアーになってしまいました。(ゆ)

● 広報おおだて 平成8年1月16日号(No645)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

● 広報おおだては再生紙を使用しています。